

第3・5学年 国語科学習指導案

日時 平成24年10月11日(木) 5校時
児童 第3学年 男子2名 女子1名
第5学年 男子1名 計4名
指導者 大西俊明
馬場平均(小規模複式支援員)

《第3学年》

1 単元名 せつめいのしかたを考えよう

2 教材名 すがたをかえる大豆
食べ物のひみつを教えます

3 つけたい力(研究との関わり)

選択した食材がどのように「すがたをかえる」のかを調べ、文章の「中」の部分の内容の順番を考え、段落に分けて効果的な接続語を使いながら文章を書くことができる力。

単元を貫く言語活動

調べたことをもとに、「中」の部分の内容の順番を考え、接続語を入れて説明の文章に表し、「食べ物のひみつ説明ブック」をつくらう。

【言語活動の特徴】

○「中」の部分の段落順を、材料の加工の度合いと関係させて考え、段落相互の関係を分かりやすくするような「まず」「次に」「さらに」といった効果的な接続語を使うことができる。

4 単元について

本単元の教材「すがたをかえる大豆」は、児童にとって身近な食べ物である大豆の調理方法を変えることで、いろいろとおいしく食べる工夫について、具体的な例を挙げて説明している。また、「はじめ」「中」「終わり」の文章の組み立てが分かりやすく書かれている。特に、「中」では、一つ一つの段落においておいしく食べる工夫と食品について具体的な例を挙げて紹介しており、大豆が様々な食べ物に変わっていく驚きや、多くの食べ方を工夫しすがたをかえていった人間の知恵のすばらしさを感じることができる

《第5学年》

1 単元名 説明のしかたについて考えよう

2 教材名 天気を予想する
グラフや表を引用して書こう

3 つけたい力(研究との関わり)

○自分の考えを裏づけるグラフや表を選び、効果的に用いて、自分の考えを分かりやすく説得力をもって読み手に伝える文章を書くことができる力。

○教師や他校の児童と考え方や文章の書き方、グラフや表の選び方や効果について感想を伝え合うことを通して、自分の文章のよさを確認したり表現の参考にしたりすることができる力。

単元を貫く言語活動

グラフや表を効果的に使って説得力をもたせ、暮らしについての自分の意見を文章に表し、「暮らし意見リーフレット」をつかって、小屋瀬小5年生と交流しよう。

【言語活動の特徴】

○グラフや表の数字や書かれていることから、何が読み取れ、どんなことが考えられるかなどを考え、自分の考えの裏づけとして引用し、自分の意見に説得力をもたせることができる。

○考えや書き方、引用について意見や感想を交流し、自分の書き方を振り返ることができる。

4 単元について

本単元の教材「グラフや表を引用して書こう」は、統計資料を根拠とした意見文を書くことを通して、理由や根拠を明確にしなが、自分の考えを記述する力を育てることをねらいとしている。その際、グ

内容である。この教材で、写真や、順序を意識した接続語を効果的に使っていることで、分かりやすい説明の仕方について学ぶことができると考える。さらに、次の教材「食べ物のひみつを教えます」では、「すがたをかえる大豆」で学習したことを使って、「はじめ・中・終わり」の構成を意識し、「中」の具体例を絵と組み合わせながら段落に分けて相手に分かりやすく説明する文章を書く力を育てることをねらいとしている。

5 児童の実態

児童は、2年下巻「しかけカードの作り方」で、写真や絵を提示することや、「まず」「つぎに」などの言葉を使うなど、分かりやすく説明するための工夫を学んだ。また、3年上巻「ありの行列」では、「はじめ」「中」「終わり」の文章の組み立てを意識して、「問い」と「答え」を見つけながら、段落ごとにどんなことが書いてあるかを読み取ることを学んだ。これらの学習を通して、写真や絵を入れると読む人に分かりやすくなることを理解することができた。また、作文などの長い文章を書くときには、「はじめ」「中」「終わり」という文章構成を意識して書くことが少しずつできるようになってきている。

しかしながら、まだ接続語を使って、分かりやすく文章を書くことについては、意識して書くには至っていない。

6 指導にあたって

単元のはじめに、給食献立表を使って、身近な食べ物を題材に食べ物がいろいろと加工されて食べられていることに興味をもたせる工夫をしたい。また、身近な食べ物のひみつについて書いている書籍を教室に置き、並行読書ができるように学習環境を整えたい。その後、教材「すがたをかえる大豆」を読み、その説明の仕方を参考にして、自分たちも「食べ物のひみつ説明ブック」を作るという単元のゴールを明確にし、児童が見通しをもって学習を進めていけるようにしたい。

「食べ物のひみつ説明ブック」を作るにあたっては、取材の段階で、教科書にあるようにマッピングを使って児童がすでに知っている記憶情報を活性化することにより、取材活動がスムーズに行えるよう

ラフや表に表されているデータから何を読み取ることができるのか、何を意味づけることができるのか、自分の考えを裏づける資料となり得るのかなど、データの解釈が必要となる。取材の段階では、引用するグラフや表の解釈・吟味を大切にしたいと考える。

5 児童の実態

児童は、これまでに「書くこと」の学習を通して、調査報告文や説明文、活動報告文の特徴を学習し、少しずつそれらの特徴を様々な場面で書く文章の中に生かせるようになってきている。また、「次への一歩 —— 活動報告書」の学習では、修学旅行を題材に、文章全体の構成の効果を考え、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、表現の効果などについて工夫して活動報告書にまとめることができた。その際には、「修学旅行を終えて考えたこと」を日常生活にもかかわらせてしっかりと自分の考えを入れながらまとめることができるようになるなど、「書く」力が少しずつ身につけてきていると感じる。

しかしながら、自分の考えの根拠が曖昧であったり弱かったりすることがあり、自分の考えをきちんと裏づけて書くことはまだ十分とはいえない。また、交流の際、考え方、文章の書き方といった観点にかかわっての交流の経験はほとんどない。

6 指導にあたって

単元のはじめに、教材「天気を予想する」という説明文が、これまで学習してきた説明文とどこが違うか児童に考えさせて、説明文の中に出てくるグラフや表に興味をもたせるとともに、グラフや表を使う意図や効果に着目させたい。その後、教材「天気を予想する」の説明の仕方を参考にして、自分も「くらし意見リーフレット」を作るという単元のゴールを明確にし、児童が見通しをもって学習を進めていけるようにしたい。

その上で、「天気を予想する」で学習した資料の選び方や説明の仕方を活用して、自分の考えの裏づけとなる統計資料を引用しながら、「くらし」についての意見文を書かせるように進めていきたい。その際には、児童が1人ということで、グループ内での検討が行えないので、教師が相談相手になって、目的

<p>にしたい。記述段階では、教材「すがたをかえる大豆」で学習した、読む人に分かりやすい文章表現の工夫に努めることを意識させるようにしたい。「すがたをかえる大豆」や、作品例「すがたをかえる米」を手がかりに、一事項一段落で書くこと、各段落においては要点をまず提示すること、「はじめ」「中」「終わり」という文章構成、「まず」「次に」「さらに」といった接続語による事例の列挙といった形式をしっかりと認識させたい。それらを、各児童が自分の文章にいかすよう励まし、また、相互交流の場においても、それらにかかわって丁寧に指導・評価することを心がけていくようにしたい。</p>	<p>に合った資料を選んだり、立場に沿った説明が書かれているか検討したりできるように配慮したい。あわせて、資料の読み取り方については、社会科の学習においても、並行して行っていきたい。また、資料を探す際には、児童の傾向をとらえて、教師の方であらかじめいくつかの関連する資料を用意しておき、選択肢として提示するようにして、児童の負担を少しでも軽減してやれるように配慮したい。</p>
---	---

7 単元の目標

	第3学年	第5学年
関心・意欲・態度	○すがたをかえる食べ物について関心を持ち、自分が調べた食べ物について、説明しようとしている。	○意見に説得力をもたせるときのグラフや表の有効性に気づき、効果的に引用しようとしている。
読む力	○中心となる文や大事な言葉に気を付けて音読することができる。(読ア) ◎中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読イ) ◎「はじめ・中・おわり」の構成に注意し、「中」に書かれた具体例を整理しながら読むことができる。(読エ)	◎筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取ることができる。(読ウ) ◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、グラフや表などの活用について感想を話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読オ)
書く力	◎「はじめ・中・おわり」の構成を意識し、「中」の例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。(書ウ) ○書いたものを読み合い、意見を伝え合うことができる。(書カ)	○「くらし」についての意見が説得力をもつように、目的にあった統計資料を取捨選択・整理することができる。(書ア) ◎グラフや図表などを引用し、自分の考えが伝わるように書くことができる。(書エ) ◎書いたものを教師や他校の児童と読み合い、グラフや表の選び方や効果について、互いの文章のよさを確認したり自分の表現の参考にしたりすることができる。(書カ)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○接続語が文と文とのつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。(1)イ(ク)	○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(1)イ(キ)

8 単元の評価規準

	第3学年	第5学年
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物について関心をもち、自分の選んだ食材に合わせて調べたり書いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことを伝えたいという願いをもち、それがきちんと伝わるようにグラフや表などを、効果的に引用し、工夫して書き表そうとしている。
読む力	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の加工の度合いの順番に書かれているか考え、中心となる文や大事な言葉に気を付けて音読している。(読ア) ・「問い」の形をとらない話題提示があることを理解し、「中」の部分の段落ごとに何がどの順番で書かれているか考え、説明されていることを整理している。(読イ) ・「はじめ・中・おわり」の構成に注意し、「中」のそれぞれの段落の内容を正しく読み取り、説明の仕方の工夫を見つけている。(読エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えとその根拠となる事実をとらえ、筆者が伝えなかったことを読み取っている。(読ウ) ・筆者が伝えたいこと、論の進め方、グラフや表などの活用について自分なりに評価する観点をもち、筆者の主張についての意見を表している。(読オ)
書く力	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ・中・おわり」の構成を意識して文章を書き、「中」の部分の内容を加工度合いの順番で考え、「まず」「次に」「さらに」といった接続語を入れて説明の文章を書いている。(書ウ) ・「食べ物のひみつ説明ブック」を発表し合い、自分と友達の書き方を比べ、上手に説明しているところに気づくことができる。(書カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料から自分の意見の裏づけとなる必要な材料を見つけている。(書ア) ・グラフや表の解釈を適切に入れ、本文との関連を示しながら、自分の考えが相手に伝わるように書いている。(書エ) ・「くらし意見リーフレット」を教師や他校の児童と読み合い、考え方や書き方、資料の選び方や効果について、意見をもらい、自分の文章のよさを確認するなど表現の参考にしている。(書カ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の効果的な接続語を適切に使って文を書いている。(1)イ(ク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の構成要素(①意見とその理由、②理由を裏づける資料の提示とそこから読み取れること、③結論)を理解している。(1)イ(キ)

10 本時の指導

(1) 目標

第3学年	第5学年
自分が選んだ材料のメモをもとに、「中」の部分の内容について、理由を考えながら順番を決めることができる。	整理した自分の意見を述べるために、どんな資料をどのように使って書けばよいかを考えることができる。

(2) 展開

段階	第3学年		形態	第5学年		段階
	指導上の留意点	学習内容・活動		学習内容・活動	指導上の留意点	
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 前時想起から、本時の学習課題へつなげる。 	1 本時の課題をつかむ。	3分	3分	1 本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 前時の想起から、本時の学習課題へつなげる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> しゅざいメモをもとに、「中」の部分の順番を考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を書く。 選んだ食べ物のどんな姿について書くか確認する。 			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 意見に説得力をもたせる資料の引用の仕方を考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を書く。
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> 「すがたをかえる大豆」やモデル学習で使用した全体の組み立ての説明や「中」の具体的な例の説明などの拡大図を提示し、確認する。 	2 「すがたをかえる大豆」で学習した分かりやすい説明の工夫を確かめる。			2 教科書の意見文の例を読む。 <ul style="list-style-type: none"> 例文が「くらしやすさ」と「くらしにくさ」、どちらの立場で書かれているか。 根拠として、どんなことをあげているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えの立場をはっきり示すこと、②考えの根拠を示すこと、③その根拠が考えを裏づけるに足るものであることの3点をしっかり押さえる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○「中」の段落の具体的な例の順番 ○事柄ごとに段落を分ける ○文をつなぐ言葉に気をつける ○文の終わりの書き方（「です」「ます」） </div>				

	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてその順番にしたか、理由も考えさせる。 ・ 各自にその順番にした理由を説明させる。 ・ 電子黒板を使用しながら、確かめた分かりやすい説明の仕方の観点が入っているか確認する。 ・ みんなで確かめた分かりやすい説明の仕方を取り入れて書くようにさせる。 	<p>3 文章例を参考にしながら、自分の選んだ食材について書く順番を決めて、説明する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の選んだ食材について、「中」に書く順番を決める。 ・ 全体で確認をする。 <p>・ 活動の様子をみて、事柄ごとに下書き用紙1枚を使って、一段落分の文章を書く。</p>	7分	7分	<p>3 グラフや表を引用するときの書き方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートで「グラフや表を説明するとき」の(1)～(4)にあてはまる部分を、見つけて書き抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発表を板書に位置づけながら、グラフや表について、例のような順で説明をする と分かりやすいことを押さえる。 	
			20分	20分	<p>(1) 何を表す資料か (表題) (2) どのように示されているか (示し方) (3) 注目する言葉や数字 (数値の使い方) (4) それらが何を意味するか (考察)</p>		
	<p>【評価】 「中」の部分について、メモをもとに理由を考えながら順番をきめているか。 (ワークシート、発表)</p> <p>【支援】 モデル文にどんな項目がどのように書いてあったかを再度確認してから、考えさせる。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を引用するときには、その資料をどのように説明すると分かりやすいかをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを裏づけるための根拠となるように詳しく説明していることに気づかせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書けたところまでの文章を簡単に評価する。 		10分	10分	<p>【評価】 意見文を書くときに、どんなグラフや表をどのように使って書けばよいか理解しているか。 (ワークシート、発表)</p> <p>【支援】 教科書の意見文の例にもどり、どんなグラフや表をどのように引用して使えばよいかを再度確認してから、考えさせる。</p>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの項目を示し、ワークシートに 	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価をする。 			<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの項目を示し、ワークシ 	まとめ

<p>る</p>	<p>自己評価を書かせる。 ・本時の課題と合わせて、「分かったこと」「自分ができたこと」を中心に口頭で振り返らせるようにする。</p>	<p>・振り返りをする。</p>	<p>5分</p>	<p>5分</p>	<p>・振り返りをする。</p>	<p>トに自己評価を書かせる。 ・本時の課題と合わせて、板書を使いながら「分かったこと」を中心に振り返らせるようにする。</p>	<p>る</p>
		<p>5 次時の予告</p>			<p>5 次時の予告</p>		